

請求の範囲

- [請求項1] フィブロネクチンと免疫抑制性受容体L I L R B 4 との結合を阻害する物質を有効成分として含有する免疫チェックポイント阻害剤。
- [請求項2] 前記フィブロネクチンが、前記フィブロネクチン中の配列番号1で表されるアミノ酸配列を介して、免疫抑制性受容体L I L R B 4 と結合する、請求項1に記載の免疫チェックポイント阻害剤。
- [請求項3] 前記フィブロネクチンと免疫抑制性受容体L I L R B 4 との結合を阻害する物質が、抗フィブロネクチン抗体又はその誘導体、抗免疫抑制性受容体L I L R B 4 抗体又はその誘導体、若しくはフィブロネクチンアナログである、請求項1又は2に記載の免疫チェックポイント阻害剤。
- [請求項4] 前記抗フィブロネクチン抗体又はその誘導体が、フィブロネクチン中の配列番号1で表されるアミノ酸配列と結合する、請求項3に記載の免疫チェックポイント阻害剤。
- [請求項5] 前記フィブロネクチンアナログが、以下の(a)～(c)のいずれか一つのペプチドである、請求項3に記載の免疫チェックポイント阻害剤。
- (a) 配列番号1で表されるアミノ酸配列を含むペプチド、
- (b) 配列番号1で表されるアミノ酸配列において、1～数個のアミノ酸が欠失、挿入、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体L I L R B 4 のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド、
- (c) 配列番号1で表されるアミノ酸配列において、80%以上の同一性を有するアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体L I L R B 4 のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド
- [請求項6] フィブロネクチンと免疫抑制性受容体L I L R B 4 との結合を阻害する物質を有効成分として含有する免疫チェックポイント関連疾患の治療剤。

- [請求項7] 前記フィブロネクチンが、前記フィブロネクチン中の配列番号1で表されるアミノ酸配列を介して、免疫抑制性受容体L I L R B 4と結合する、請求項6に記載の治療剤。
- [請求項8] 前記フィブロネクチンと免疫抑制性受容体L I L R B 4との結合を阻害する物質が、抗フィブロネクチン抗体又はその誘導体、抗免疫抑制性受容体L I L R B 4抗体又はその誘導体、若しくはフィブロネクチンアナログである、請求項6又は7に記載の治療剤。
- [請求項9] 前記抗フィブロネクチン抗体又はその誘導体が、フィブロネクチン中の配列番号1で表されるアミノ酸配列と結合する、請求項8に記載の治療剤。
- [請求項10] 前記フィブロネクチンアナログが、以下の(a)～(c)のいずれか一つのペプチドである、請求項8に記載の治療剤。
- (a) 配列番号1で表されるアミノ酸配列を含むペプチド、
 - (b) 配列番号1で表されるアミノ酸配列において、1～数個のアミノ酸が欠失、挿入、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体L I L R B 4のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド、
 - (c) 配列番号1で表されるアミノ酸配列において、80%以上の同一性を有するアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体L I L R B 4のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド
- [請求項11] 前記免疫チェックポイント関連疾患が、自己免疫疾患、がん、炎症性疾患、及びアレルギー性疾患からなる群から選択される、請求項6～10のいずれか一項に記載の治療剤。
- [請求項12] 前記がんが、がん転移によるものである、請求項11に記載の治療剤。
- [請求項13] 免疫抑制性受容体L I L R B 4を活性化する物質を有効成分として含有する免疫チェックポイント関連疾患の治療剤。
- [請求項14] 前記免疫抑制性受容体L I L R B 4を活性化する物質が、抗フィブ

ロネクチン抗体又はその誘導体、抗免疫抑制性受容体L I L R B 4 抗体又はその誘導体、若しくはフィブロネクチン又はフィブロネクチンアナログである、請求項13に記載の治療剤。

[請求項15] 前記フィブロネクチンアナログが、以下の(a)～(c)のいずれか一つのペプチドである、請求項14に記載の治療剤。

(a) 配列番号1で表されるアミノ酸配列を含むペプチド、

(b) 配列番号1で表されるアミノ酸配列において、1～数個のアミノ酸が欠失、挿入、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体L I L R B 4 のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド、

(c) 配列番号1で表されるアミノ酸配列において、80%以上の同一性を有するアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体L I L R B 4 のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド

[請求項16] 前記免疫チェックポイント関連疾患が、骨疾患である、請求項13～15のいずれか一項に記載の治療剤。

[請求項17] 免疫抑制性受容体L I L R B 4 を活性化する物質を有効成分として含有する免疫抑制剤。

[請求項18] 前記免疫抑制性受容体L I L R B 4 を活性化する物質が、抗フィブロネクチン抗体又はその誘導体、抗免疫抑制性受容体L I L R B 4 抗体又はその誘導体、若しくはフィブロネクチン又はフィブロネクチンアナログである、請求項17に記載の免疫抑制剤。

[請求項19] 前記フィブロネクチンアナログが、以下の(a)～(c)のいずれか一つのペプチドである、請求項18に記載の免疫抑制剤。

(a) 配列番号1で表されるアミノ酸配列を含むペプチド、

(b) 配列番号1で表されるアミノ酸配列において、1～数個のアミノ酸が欠失、挿入、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体L I L R B 4 のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド、

(c) 配列番号 1 で表されるアミノ酸配列において、80%以上の同一性を有するアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体 LILRB4 のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド

[請求項20] 配列番号 1 で表されるアミノ酸配列に結合する抗フィブロネクチン抗体又はその誘導体。

[請求項21] 以下の (a) ~ (c) のいずれか一つのペプチドと免疫グロブリン G の Fc 領域とが融合したフィブロネクチンアナログ。

(a) 配列番号 1 で表されるアミノ酸配列を含むペプチド、

(b) 配列番号 1 で表されるアミノ酸配列において、1~数個のアミノ酸が欠失、挿入、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体 LILRB4 のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド、

(c) 配列番号 1 で表されるアミノ酸配列において、80%以上の同一性を有するアミノ酸配列を含み、且つ、免疫抑制性受容体 LILRB4 のフィブロネクチン結合部位に対し結合能を有するペプチド

[請求項22] 請求項 20 に記載の抗フィブロネクチン抗体又はその誘導体を含み、生体試料中に含まれる配列番号 1 で表されるアミノ酸配列を含むフィブロネクチンまたはその部分タンパク質を検出するためのキット。

[請求項23] 請求項 22 に記載のキットを用いる、生体試料中のフィブロネクチン又はその部分タンパク質を検出する方法。